

# 私たちの「仲間たち」

299

## 個性派アカトンボ

秋も本番の頃、色付く里山に息づく個性派アカトンボを紹介しよう。

その名はリスアカネ。名前の由来は、スイスのトンボ学者に因むもので、いわゆる森のリス（栗鼠）とは何のつながりもない。

アカトンボとは、秋になると体の全体や、その一部が赤色（茜色）に色付くアカネトンボの総称で、アキアカネやナツアカネがその代表種として知られている。これまでの調査で鳩山町では11種類のアカトンボ（アカネ



▲鳩山の動植物 リスアカネ (トンボ科)

属)を確認しているが、ふだん私たちが観察している石坂の森では、このうち9種類のアカトンボたちを見ることが出来る。そんな中であって、今回紹介するリスアカネはちょっと個性的なアカトンボといえるだろう。他のアカトンボのように田んぼや畑で見かけることはほとんどなく、どちらかといえば薄暗い水辺を好み、あまり活発に飛び回ることもない。縄張り意識も強いようで、条件のそろった止まり場所を見つけると、一日中その場から離れないこともある。

ご覧の写真は、山道沿いの薄暗い小さなため池で撮ったものだが、たぶん、縄張りの条件を満たしたお気に入りの場所だったのだろう。縄張りへの侵入者を追い払うために何度か勢いよく飛び立ったものの、あっという間に元の場所に舞い戻って来た。

翅の先端に褐色の斑紋を付け、腹部全体は鮮やかなスカレットカラーに染まる。そんなスタイルはアカトンボの中ではなかなかお洒落な存在だが、残念ながらあまりポピュラーなトンボではない。

里山にも霜が降りる頃。梅雨明けと共に始まった彼らの生活（季節）も密かに終わりを告げる。

(写真・文/NPO法人里山環境プロジェクト・はとやま)

### ご意見をお寄せください

私たちの「仲間たち」は、おかげさまで間もなく300回を迎えます。広報はとやまでは、これをひとつの節目として、本連載を一旦休載とし、新たな紙面企画を検討しています。新企画の内容について、皆さまからのご意見をお待ちしています。ご連絡は左記までお願いします。

●皆さまからいただいたご意見は、今後の紙面企画の際に参考とさせていただきます。



### 人口と世帯

11月1日現在、( )は対前月比		
人口	14,497人	(- 7)
男	7,165人	(- 2)
女	7,332人	(- 5)
世帯	5,884世帯	(+ 7)
10月の出生数	3人	

### 12月の納税・納付

固定資産税	(第3期)
国民健康保険税	(第6期)
後期高齢者医療保険料	(第6期)
介護保険料	(第6期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

### 編集・集・室

▼広報活動をしていると、さまざまな笑顔にお会いできます。こちらはお邪魔しているにも関わらず、たくさんの笑顔を見ただけの事です。こんな素敵な仕事、まちはありません。

今月号では、日頃の取材でお会いできる笑顔テーマに記事を書きました。優しく迎え入れていただけたことへの感謝の意も込めました。早いものでもう12月。今年一年を振り返り、来月から新たな年を迎えるこの時期に、皆さまからいただいた素敵な笑顔を見て、笑って年末を迎えていただけたら幸いです。

ただ、記事を書いている当人は、最近笑う回数が少なくなってきたいます。自戒を込めた記事ともなりました。さて、年末年始も、町内ではさまざまイベントが目白押しです。笑顔を探しに、ぜひ皆さまも外へお出かけになってみてはいかがでしょう。

今年も広報はとやまをご愛読いただき、誠にありがとうございます。皆さま、笑顔でよいお年をお迎えください。Ⓚ

※「広報写真で振り返る町の歴史」は、今月はお休みしました。